

なわて オレンジドア (認知症ケアパス)

★認知症ケアパスとは、認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れです。

認知症になっても安心して暮らせるまち四條畷に

気づくつながる支援の輪



1. 認知症は身近な病気です----- 2 ページ
2. 気づいたときに、まず相談----- 3 ページ
3. 認知症に早く気づくことが大事----- 4 ページ
4. 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう----- 5 ページ
5. わくわくマップ、社会福祉協議会の活動----- 6 ページ
6. なわてDEカフェ----- 7 ページ
7. 介護保険制度 <在宅の介護サービス> ----- 8 ページ
8. 四條畷の3つの見守り・お守り 認知症ナビ (認知症を知る動画) ----- 9 ページ
9. 介護保険制度<四條畷市内の施設サービス> もしものとき----- 10 ページ
10. 認知症の人を支えるために 対応のポイント----- 11 ページ
11. あなたも認知症サポーターになりませんか！----- 12 ページ

認知症は身近な病気です

認知症は誰でもなる可能性がある脳の病気です。

2040年には認知症の人は約584万人と推計されています。^(注1) 高齢者の約6人に1人の割合です。65歳未満で発症する若年性認知症の人は、全国に3万5千人と推計されています。

(注1) 九州大学二宮利治教授認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究

認知症は、誰もがなる可能性があります。
認知症の人と家族が、安心して暮らせる
まち、四條畷を作ることが大切です。



認知症とは

いろいろな原因で脳に変化がおこり、認知機能^(注2)が低下して、それまでできていたことができなくなり、生活に支障をきたした状態をいいます。

(注2) 認知機能とは、五感（見る、聞く、触る、嗅ぐ、味わう）を介して得た情報をもとに、認識したり、記憶・計算・学習を行ったりする機能です。

認知症の原因となる病気には、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症などがあります。

認知症の予防と治療

こうすれば「認知症にならない」という予防法はありません。

しかし、生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）を予防することで、認知症の発症リスクを減らすことは可能です。また認知症になってからも、進行を緩やかにすることが期待できます。

食生活に気をつけ、適度な運動を行い、生活を楽しみ、社会参加することが大切です。

認知症の治療は、進行を緩やかにして、生活の質を維持し高めることをめざしています。

薬の力も借りながら、生活環境を整えて、楽しみのある暮らしを続けていきましょう。



気づいたときに、まず相談

地域包括支援センター

高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。

高齢者やその家族、地域住民などから受けた相談内容を行政機関、医療機関、ケアマネジャーなどと連携して解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。中学校区ごとに計3ヶ所あります。

センター名	担当地域	電話番号	窓口開設時間
にし地域包括支援センター	四條畷西中学校区	072-863-0170	月～金曜日
なわて地域包括支援センター	四條畷中学校区	072-862-3366	(祝日・年末年始を除く)
たわら地域包括支援センター	田原中学校区	0743-70-1249	8:45～17:15※

※平日の相談が難しい方のために、事前予約にて休日の相談に対応します。

認知症初期集中支援チーム（なわてオレンジチーム）

❖ 相談から支援までの流れ ❖

1 認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センター、高齢福祉課へ

電話や窓口にてご相談ください。(相談先は下記をご覧ください)

2 支援チームによる訪問

認知症初期集中支援チームがご自宅を訪問し、認知症についてのお困りごとや心配なことを、確認させていただきます。



3 支援チームによる支援(概ね最長6ヵ月)

- ◎認知症の症状に合わせた対応等のアドバイスを行います。
- ◎必要に応じて専門医療機関への受診促しや調整を行います。
- ◎必要な介護サービス等へつなげます。



4 関係機関への引継ぎ

安定的な支援につながったことを確認の上、関係する機関へ引継ぎをします。

問い合わせ先

認知症初期集中支援チーム（なわてオレンジチーム） 0743-78-1198

四條畷市大字上田原613 阪奈サナトリウム内

認知症地域支援推進員（市役所高齢福祉課内）

認知症の人と共に住みやすい四條畷をめざして、相談に応じたり、地域での活動をしています。

連絡先：四條畷市高齢福祉課 072-877-2121(代表) / 0743-71-0330(代表)

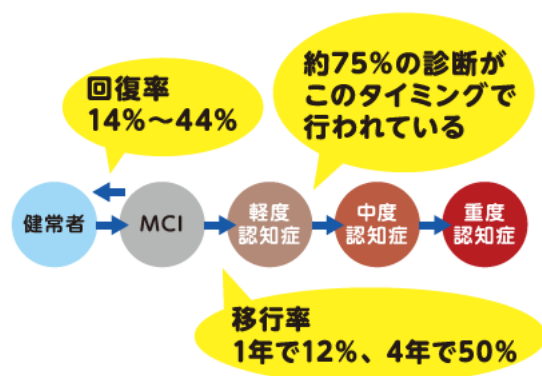
認知症に早く気付くことが大事

認知症は治らないから、受診してもあまり意味がないと思っていませんか。それは、違います。認知症も他の病気と同じように、早期診断と対応により、いろんなメリットがあります。

早期発見の3つのメリット

1. 早期治療で改善も期待できる
2. 進行を遅らせる可能性がある
3. 事前に様々な準備ができる

軽度認知症障害(MCI)の回復率は14~44%



軽度認知症障害(MCI)とは

認知症の前段階で、軽いもの忘れなどがあっても、日常生活は支障なく送れる状態です。

この段階で、脳の活性化や生活習慣の改善に取り組むことが、非常に重要です。

認知症診療の窓口医療機関

医療機関名	住所	電話番号
① 安部クリニック	田原台5丁目 17-21	0743-78-8875
② きたいクリニック	楠公2丁目8-10	072-879-2540
③ 河野医院	楠公2丁目10-12	072-876-0241
④ 田中医院	塚協町5-3	072-877-1078
⑤ 西村クリニック	楠公1丁目14-6	072-862-3001
⑥ 福田医院	岡山2丁目1-58	072-876-1666
⑦ ふくだクリニック	中野本町8-39	072-862-1156
⑧ 松吉医院	米崎町17-30	072-876-7221
⑨ みやざきクリニック	楠公1丁目15-8 2階	072-863-2266

認知症診療の専門医療機関(機能評価テスト、CT、MRI等)

医療機関名	住所	電話番号
⑩ 暁生会脳神経外科病院	中野本町28-1	072-877-6639
⑪ 阪奈サナトリウム	上田原613	0743-78-1188

認知症疾患医療センター

医療機関名	住所	電話番号
⑫ 東香里病院	枚方市東香里1-24-34	072-853-0540



「もしかしたら認知症かな？」

気になる 시작했다ら、まずは自分でチェックしてみましょう。

自分でできる 認知症の気づきチェックリスト

最もあてはまるところに○をつけてください。

チェック①	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	1点	2点	3点	4点
チェック②	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	1点	2点	3点	4点
チェック③	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか	1点	2点	3点	4点
チェック④	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
今日が何月何日かわからないときがありますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑤	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑥	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑦	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
一人で買い物に行けますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑧	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑨	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか	1点	2点	3点	4点
チェック⑩	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
電話番号を調べて、電話をかけることができますか	1点	2点	3点	4点

① 軽い症状はあるが
日常生活は自立(MCI)

チェックしたら、①から⑩の合計を計算▶ 合計点 点

20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。

お近くの医療機関や市の相談窓口、地域包括支援センターに相談してみましょう。

※このチェックリストの結果はあくまでもおおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。

認知症の診断には医療機関での受診が必要です。

※身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

出典：「知って安心 認知症」東京都福祉局高齢者施策推進部在宅支援課認知症支援係／令和6年9月発行

楽しみながら、健康を維持し、 脳の活性化を図りましょう

「一日中家にいる」「趣味がない」「話し相手がいない」など、閉じこもりがちになっていませんか？
楽しく身体を動かしたり、人と会っておしゃべりしたりできる場は身近にありますよ。

わくわくマップをご活用ください。

紙のマップは、市役所高齢福祉課や地域包括支援センターで配布しています。

スマートフォンをお持ちの方は
こちらから



<https://smiledonkey.web.fc2.com/12siensenta/03map/sinhoukatu/map.html>

社会福祉協議会では

- ボランティア活動の紹介、活動につながる学びの場の提供などの支援を通じて、高齢者の生きがいづくりを支援しています。
- ふれあい元気クラブえんじょい、街かどデイハウス「さんら」、老人クラブ連合会事務局として、高齢者のつながりを推進しています。
- 地区福祉委員会でを行う小地域ネットワーク活動※を推進し、地域の「支えあい」「助け合い」をすすめています。



※小地域ネットワーク活動とは
高齢者、障がい者(児)、子育て親子など、地域で生活する上で、何らかの援助を必要とする人へ、地区福祉委員会が中心となって、近隣住民の参加と協力により、地域の支えあい・助け合いをすすめる活動です。

- 地域のかや社協が実施する事業を通して、認知症があっても住み慣れた地域で、安心して生活できるようにお手伝いしています。

四條畷市社会福祉協議会の
ホームページ



社協に
相談したい
参加したい
知りたい方は
こちらから

四條畷市社会福祉協議会
所在地 四條畷市北出町3-1
連絡先072-878-1210

なわてDEカフェ



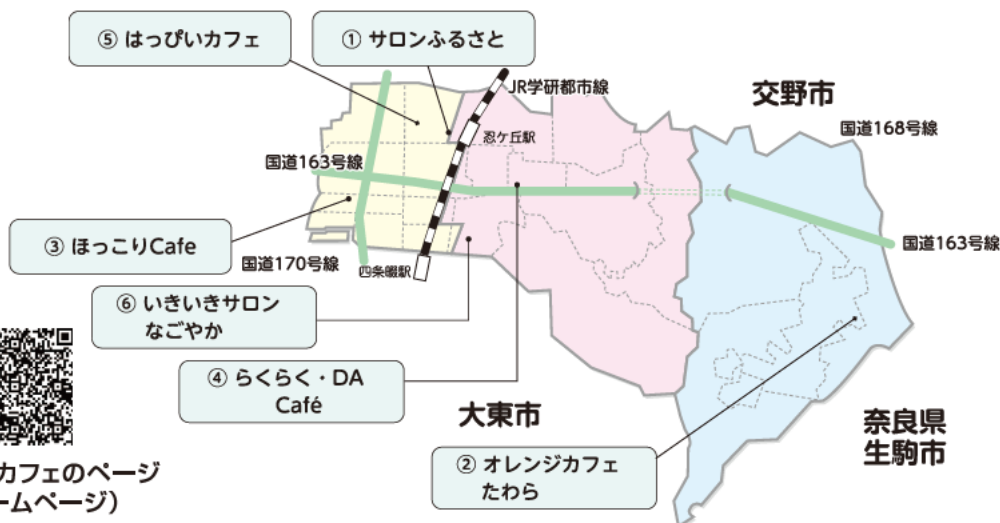
認知症の人やご家族、地域の人がコーヒーやお茶を飲みながら、「話をしたり」「話を聞いたり」「相談したり」するカフェスタイルの交流の場です。

家族同士が情報交換できたり、医療や介護の専門職に相談したり、また歌や手芸・体操等で地域の方との交流ができます。

名称・地図番号	開催場所・問合せ	内容	開催日時	参加費	定員
①サロンふるさと	岡山 2丁目7-43 072-878-2308 ふるさとデイサービスセンター	介護者の交流や 介護相談の場 手工芸など	第2・4水曜 13:00～15:00	100円	15名程度
②オレンジカフェたわら	田原台 4-8-6 0743-70-1249 グループホームたわら	介護者の交流や 介護相談の場 ミニ講座など	毎月第4木曜 13:30～15:00	無料	10名程度
③ほっこりCafe	北出町 28-1 072-878-2651 四條畷荘	喋ること・笑うこと・脳トレにて、楽しく脳の活性化	毎月第1金曜 14:00～15:00	100円	15名程度
④らくらく・DACafé	清滝 511-1 072-876-3773 特別養護老人ホーム 雨塚らくらく苑1階	「シナプロジー」 脳の活性化 笑顔で運動・認知機能の低下予防(計算じゃんけん・スカルフキャッチ等)	毎月第2・4金曜 13:30～15:00	100円	20名程度
⑤はっぴいカフェ	岡山 5-19-20 072-878-9371 るうてるホーム	わいわいと交流し、頭と体の体操やゲーム、カラオケ、手作りおやつなどのイベントも	毎月第4火曜 13:30～15:30	200円	30名程度
⑥いきいきサロンなごやか	南野 2-1-24 072-863-2660 グループホーム 第3なごやか	介護者の交流や 介護相談の場 ミニ講座など	奇数月、第4月曜 14:00～15:30	無料	10名程度

※月により曜日や時間が変更になる場合があります。詳細は直接、実施主体にお問い合わせください。 令和8年3月現在

② 見守りがあれば
日常生活は自立



なわてDEカフェのページ
(市ホームページ)

介護保険制度

高齢者がいつまでも自立した生活を送ることができるために利用するサービスです

- ▶ 65歳以上の方が申請可能
- ▶ 40～64歳の人で第2号被保険者は特定疾病により日常生活を送る際の困りごとがある場合、申請可能

利用までの流れ

- ① 申請する
- ② 認定調査・主治医の意見
- ③ 審査・判定
- ④ 介護認定（要支援1・2 要介護1～5）
- ⑤ ケアマネジャーによるケアプラン作成
- ⑥ 担当者が集まり話し合い（担当者会議）
- ⑦ サービス利用（収入によって1割～3割負担）



申請窓口

四條畷市高齢福祉課
または、地域包括支援センターへ（3ページ参照）

在宅の介護サービス

- **居宅介護支援**
本人、家族の話を伺い、多職種との連携を取りながら、ケアプランを作ります。
- **訪問介護（ヘルパー）**
自宅を訪問し、入浴や排せつ等の身体介護や買い物、調理等の家事のお手伝いを行います。
- **訪問リハビリ**
主治医の判断のもと、セラピストが自宅に訪問し、リハビリを実施します。
- **訪問看護**
看護師が自宅を訪問し、療養上の看護や健康管理を行います。
- **訪問入浴介護**
自宅に浴槽を持ち込み、介護士と看護師が入浴の介助を行います。
- **デイサービス**
通所施設で食事、入浴や交流等の日常生活援助の支援、生活機能訓練などを日帰りで行います。
- **デイケア**
介護老人保健施設や医療機関等で、日帰りで入浴などの日常生活支援や生活行為向上のためのリハビリを行います。
- **ショートステイ**
特別養護老人ホームや短期入所施設で短期間入所し、食事や入浴、排泄、機能訓練などのサービスを行います。
- **福祉用具貸与**
ベッドや車いすなどの貸与を行います。



*他にもさまざまなサービスがあります。日常生活の自立を助けるために福祉用具の貸与ができます。入浴や排泄などで使用する福祉用具に関しては、購入となります。

四條畷の3つの見守り・お守り ひとり歩きに不安のある方、ご家族の方へ

① 高齢者等SOSネットワーク事業 (登録は無料です)

道に迷われたときに協力登録事業所にメールを配信し、早期発見につなげます。

② 位置情報提供サービス (初期費用を市が負担します)

GPS付機器を携帯し、登録エリア外に出た時や行方不明時に、迅速に居場所を特定します。

③ 高齢者見守り伝言板システム

(見守りシールの交付は無料です。)

(1年以内の追加シールは実費をいただきます。)



お問合せ・申し込み

四條畷市高齢福祉課

仕組みは動画で確認



道に迷われた際、衣服等に貼ったQRコードが読みとられると、事前に登録している家族等に、瞬時に「発見通知メール」が届きます。チャット形式で発見者とやり取りし、お迎えまで迅速に行えます。

どせし伝言板® とは？



行方不明に気づいた時はまず、警察へ電話しましょう。

四條畷 認知症ナビ



認知症と診断された人や、
その家族にむけての動画です。

- パート1 「心配になったら見る動画」
- パート2 「診断を受けた後の対応」
- パート3 「生活に困らない工夫」
- パート4 「ご家族や周りの人へのアドバイス」
- パート5 「明日から使えるサポートの方法」



(市ホームページ)

在宅での生活が、難しくなってきたら、施設への住み替えもひとつの方法です。

グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

認知症高齢者がスタッフの介護を受けながら、共同生活を送る施設

施設名	住所	電話
たのしい家 四條畷	雁屋北町 15-16	072-876-1021
グループホーム 第3なごやか	南野 2丁目 1-24	072-863-2660
グループホーム ふるさと	岡山東4丁目 7-8	072-877-3701
グループホーム たわら	田原台 4丁目 8-6	0743-78-9488

特別養護老人ホーム（要介護3以上）

常に介護の必要が高齢者が入浴や排せつ等の介護や日常生活上の世話を受けて生活をする施設

施設名	住所	電話
四條畷荘	北出町 28-1	072-878-2651
るうてるホーム	岡山5丁目 19-20	072-878-9373
清滝らくらく苑	清滝中町 1-3	072-876-3611
(地域密着型) 南野らくらく苑	清瀧 771-1	072-862-2007
(地域密着型) 雨塚らくらく苑	清瀧 511-1	072-877-0833
田原荘	上田原 597	0743-79-2525

介護老人保健施設

状態は安定している高齢者が、在宅で生活できるようリハビリを行う施設

施設名	住所	電話
暁生会遊々館	江瀬美町 26-7	072-863-7770
パークヒルズ田原苑	上田原 613	0743-78-9499

上記以外でもいろいろな有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅があります。

※令和8年3月現在の情報です。最新情報は市のホームページをご確認ください。

もしものとき

成年後見制度

成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分となった人が、財産管理や契約で不利益をこうむったり、権利や尊厳が侵害されたりすることのないように、家庭裁判所に選ばれた後見人によって支援する制度です。後見人には、家族など身近な人や、弁護士、司法書士、社会福祉士といった適任者が選ばれます。

消費生活センター

消費生活センターは、消費者のための相談や情報提供を行う行政機関です。悪質商法による被害や商品事故の苦情など消費生活に関する相談に応じています。悪質商法の被害にあいやすい認知症の高齢者には頼りになる機関です。

■消費者ホットライン ☎188（イヤヤ!）

■四條畷市消費生活センター ☎072-877-2121（木曜日を除く、月～金 10時～16時）

警察

認知症の高齢者が道に迷われている、又は出かけたまま帰ってこない時は、警察に届けましょう。

認知症の高齢者は、振り込め詐欺をはじめとした犯罪に巻き込まれやすい傾向があります。犯罪の被害にあったり、被害にあいそうになったら迷わず相談しましょう。

■警察総合相談 ☎#9110（悪質商法や詐欺などの相談に応じています）

■四條畷警察署 ☎072-875-1234

認知症の人を支えるために

～家族や周りの人の対応のポイント～

本人の気持ちを理解して接しましょう

たとえば、認知症の人がごはんを食べたことを忘れて何度も「ごはんまだ？」とたずねたり、外出する予定時刻のだいぶ前から何度も「何時に出かけるの？」とたずねたりするのは、記憶障害がもたで生じる不安をやわらげようとしているのかもしれない。

認知症の人が不安を感じながら生活していることを十分に理解して接することが大切です。



こんなときは・・・

そのような場面で「何回も同じこと聞かないで！」と怒ってしまうと、ますます本人の不安をあおってしまいます。本人の不安な気持ちを理解しながら訴えをよく聞き、不安をやわらげるような対応をするとよいでしょう。



本人の尊厳を大事にして、できることを生かしながらお手伝いしましょう

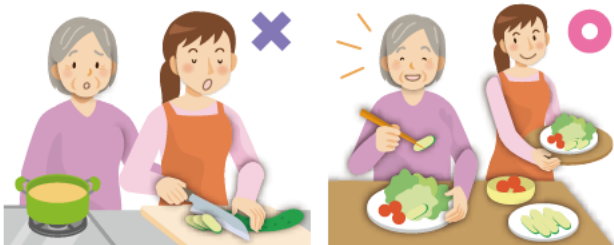
たとえば、長年料理をしてきた人が、認知症になってうまく段取りができなくなったり、火の不始末が増えてきたりすることがあります。

認知症になっても全てのことができなくなるわけではありません。本人の尊厳を大事にして、できることを生かしながらさりげなく手助けしましょう。



こんなときは・・・

危ないからといって料理をまったくさせないようにするのはではなく、材料を切ったり混ぜたり、盛り付けをしたり、本人ができることをしてもらうようにするとよいでしょう。



あなたも認知症サポーターになりませんか！

<認知症サポーターとは>

認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。

<認知症サポーターになるためには>

「認知症サポーター養成講座」を受講して下さい。

- ★90分の講義を受ければ、どなたでもなることができます。
 - ★養成講座は市や各種団体、小中学校などで行われています。
 - 自治会、企業、趣味のサークル、ご近所の方の集まりなどに、出張して開催することも可能です。
- まずは、お気軽に高齢福祉課までお問合せ下さい。



大阪府認知症サポート事業所は、 認知症の人にもやさしい工夫をしています。

<認知症サポート事業所とは>

スーパー、ドラッグストア、銀行等の店舗で、認知症に関する正しい知識を学んだ従業員（認知症サポーター）を配置し、認知症の人や認知症と思われる人に対してやさしい店舗づくり等に取り組んでいる事業所のことです。

例えば、ゆっくり支払いができる優先レジの設置、車いす等でも利用できるよう店舗のバリアフリー化、自宅配達時の安否確認、店舗までの送迎等の取り組みを実施しています。

※各店舗により取組内容は異なります。

「認知症サポート事業所」への
アクセスはこちらから



大阪府ホームページ



登録ステッカー

問
合
せ
先

四條畷市役所高齢福祉課
〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号
☎072-877-2121(代表) / 0743-71-0330(代表)
発行：四條畷市

